

梅雨入りし、大雨の可能性もあります。

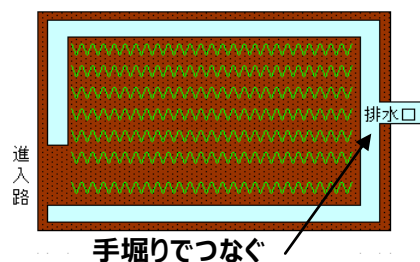
排水対策と培土でしっかり対応しましょう。

1. これまでの気象と生育状況

本年は播種適期中好天が続き、大豆の播種の盛期は6月1日(平年差-2日)となり、出芽期も平年並みとなっています。6月28日発表の1か月予報によると、7月は平年より気温が高いと予想されています。しかし、6月中の降雨量が少なかったため、生育の遅れている圃場もみられます。

大豆の生育が本葉3葉期に達した圃場では、速やかに1回目の中耕・培土作業を行い、雑草害や湿害から大豆を守りましょう。

培土作業時に排水ルートがふさがれていないか確認するとともに、明渠のつながりや排水口を確認し、圃場内に停滞水が発生しないようにしましょう。



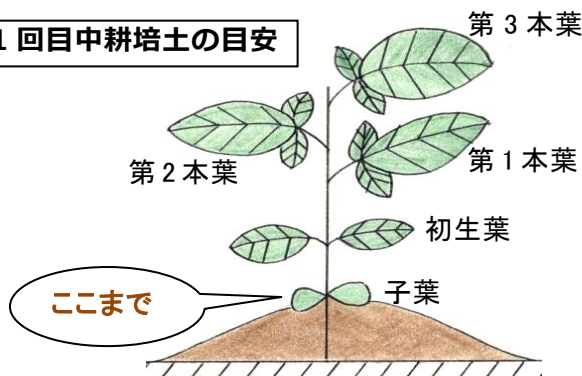
2. 中耕・培土の実施

1回目の中耕・培土(本葉3葉期)

梅雨入りしましたが、大豆の生育に合わせて天気を見て遅れずに作業を実施しましょう。

1回目の中耕・培土の土寄せは、子葉が隠れる程度が目安です。

1回目中耕培土の目安

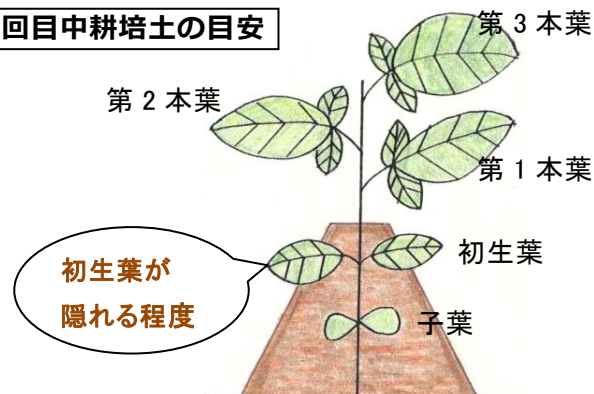


2回目(仕上げ)の中耕・培土(本葉6~7葉期)

土寄せの高さは、初生葉~第1本葉の間です。

追肥を行う場合は、この時期が適期です。培土作業前に緩効性肥料(LPコート70)を20kg/10a(窒素成分8kg)程度を全面散布し、培土作業を行います。代わりに、尿素を施用する場合は、10kg/10a(窒素成分4.6kg)の施用とします。開花後の中耕・培土は、根を損傷します。

2回目中耕培土の目安



仕上げ培土は、開花1週間前に済ませましょう。

(例年、7月末~8月初め頃に開花期となります。)

3. 除草対策

- 雑草防除は中耕・培土が基本となりますが、取りこぼした雑草等に対しては、小さいうちに一度除草剤を散布しておくのが効果的です。
- 難防除雑草は圃場で見つけ次第取り除き、ほ場で増殖させないことが重要です。近年難防除雑草の一種であるアサガオ類の発生が見られますが、このようなほ場では、つるが出ないうちに中耕・培土や刈取りを行うなど、対策をしましょう（アサガオ類は収穫時の作業効率の悪化、汚損粒の発生の原因となります）。
- 雑草の発生状況に応じて有効な除草剤を選びましょう。以下はその一例です。

【早めの広葉雑草対策に】 大豆バサグラン液剤

雑草が小さいうちであれば、幅広い草種の広葉雑草に効果があります。

※ただし「シュウリュウ」は生育初期（3葉期）ほど薬害の程度が大きくなるため、十分検討して使用してください。

【畦間・株間処理に】 ロロックス、バスタ液剤

さらに残草があった場合や、難防除雑草対策に効果があります。※専用吊り下げノズル使用

【イネ科雑草対策に】 ワンサイドP乳剤、ナブ乳剤、ポルトフロアブル

最大雑草10葉期まで使用できる剤もありますが、散布が遅れないように留意しましょう。

主な除草剤の使用方法

除草剤名	適用雑草名	10a当たり使用量		使用時期	使用方法	使用回数
		薬量	希釈水量			
大豆バサグラン液剤 広葉雑草専用	一年生雑草（イネ科を除く）	100～150ml	100ℓ	大豆2葉期～開花前（雑草の生育初期～6葉期）（ただし収穫45日前まで）	雑草茎葉散布又は全面散布	1回
		300～500ml		大豆の生育期（雑草の生育初期～6葉期）（ただし収穫45日前まで）	雑草茎葉散布（ ！畦間処理 ）	
ロロックス	一年生雑草	100～200g	70～150ℓ	本葉3葉期以降雑草生育期（草丈15cm以下）（ただし収穫30日前まで）	雑草茎葉兼土壌散布（ ！畦間・株間処理 ）	1回
バスタ液剤 非選択性	一年生雑草	300～500ml	100～150ℓ	畦間処理：雑草生育期 株間処理：本葉5葉期以降雑草生育期（収穫28日前まで）	雑草茎葉散布（ ！畦間処理又は畦間・株間処理 ）	3回以内
ワンサイドP乳剤 イネ科雑草専用	一年生イネ科雑草（スズメノカタビラを除く）	100ml	100ℓ	雑草生育期（イネ科雑草8～10葉期）（ただし収穫60日前まで）	雑草茎葉散布	1回
ナブ乳剤 イネ科雑草専用	一年生イネ科雑草（スズメノカタビラを除く）	200ml	100ℓ	雑草生育期（イネ科雑草6～8葉期）（ただし収穫30日前まで）	雑草茎葉散布又は全面散布	1回
ポルトフロアブル イネ科雑草専用	一年生イネ科雑草（スズメノカタビラを除く）	200～300ml	50～100ℓ	雑草生育期（イネ科雑草3～10葉期）（ただし収穫30日前まで）	雑草茎葉散布又は全面散布	1回

！マークは畦間処理、または畦間・株間処理のみの項目です。大豆にかかると薬害が発生するため専用ノズルを使用してください。全面散布できません。

除草剤は、**適用雑草名、希釈倍率・散布量・使用方法・使用時期**など、登録情報をよく確認して使用しましょう。

